

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

鏡石町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県岩瀬郡鏡石町

3 地域再生計画の区域

福島県岩瀬郡鏡石町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は2011年の13,056人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2019年には12,626人まで落ち込んでいるものの2020年には12,688人、と微増傾向にある。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年には総人口が7,201人となる見込である。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（14歳以下）は1985年の2,954人をピークに減少し、2021年には1,717人となる一方、老年人口（65歳以上）は1978年の585人から2021年の3,506人まで増加の一途をたどっており、今後も少子高齢化が進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15歳～64歳）も1999年の8,409人をピークに減少傾向にあり、2021年には7,445人となっている。

本町の自然動態をみると、出生数1990年の141人をピークに減少し、2020年には73人となっている。その一方で、死亡数は2020年には157人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲84人（自然減）となっている。また、合計特殊出生率は1990年に1.79から2020年では1.16に減少している。

社会動態をみると、2002年には転入者（653人）が転出者（724人）を上回る社会増（71人）であった。しかし、本町の基幹産業である農業の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことで、町外への転出者が増加し、2021年には96人の社会減となっている。

このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

本町は、東京都心 200 k m 圏に位置し、国道、東北自動車道、ＪＲ東北本線が通り、広域的な交通条件にも恵まれ、ＪＲ鏡石駅を中心とした「コンパクト」な市街地形成による、「歩いて暮らせるまちづくり」の推進や鏡石スマートインターチェンジの設置等、交通の好アクセス条件を活かした一定の圏域人口を有した活力ある社会経済を維持するための推進が求められている。また、本町は人口減少下化の中でも、それらの特性を活かし、一定の若年ファミリー層の流入があるため、子育て環境の充実や定住へ向けた支援が重要となっている。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 子育て・健康・福祉
- ・基本目標 2 教育・文化・スポーツ
- ・基本目標 3 協働・コミュニティ
- ・基本目標 4 産業・観光
- ・基本目標 5 都市環境・地域防災・生活居住
- ・基本目標 6 行財政・広域連携

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
	つどいの広場の利用者数	1,800人	1,880人	

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	幼保連携型認定こども園の整備	1 施設	3施設	基本目標 I
	放課後児童クラブの利用率	38%	42%	
	ひとり親家庭自立支援事業の利用率	43%	46%	
	安心して遊べる活動施設の整備	0 施設	1 施設	
	予防接種の接種率	96.8%	99%	
	妊婦健康診査の受診率	96.8%	99%	
	乳幼児健康診査の実施率	95.9%	100%	
	不妊治療に対する助成事業の利用件数	7 件	9 件	
	産後ケア事業の利用件数	0 件	7 件	
	12歳児における一人あたり平均むし歯数	0.98本	0.2本	
	健康診断等の受診率	88.4%	93%	
	女性検診の受診率	39.6%	63%	
	特定健康診査の受診率	38.7%	63%	
	特定保健指導実施率	30.9%	63%	
	運動習慣者の割合	47.2%	53%	
	健幸食生活応援事業の利用件数	99件	150件	
	収納率（現年度）	96.42%	96.6%	
	1人当たりの医療費の状況（現年度）	378,387円	360,000円	

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
イ	全国学力調査において中学校3年生の国語・数学の正答率が全国平均を上回っている科目数	0科目	2科目	基本目標Ⅱ
	中学生の英検3級以上の取得率	8.26%	13.0%	
	不登校児童生徒数	13人	5人	
	要支援児童生徒に対する特別支援教育支援員の配置率	21.4%	28.0%	
	生涯学習文化協会及び加盟団体事業への支援	43団体	50団体	
	公民館における町づくり講座開催	33回/年	43回/年	
	広報紙・町ホームページなどによる関連情報の提供	5回/年	5回/年	
	青少年育成町民会議開催	1回/年	1回/年	
	町文化財の周知・啓発	6回/年	6回/年	
	文化関連事業の開催支援	3回/年	3回/年	
	体育協会の組織強化	2回/年	2回/年	
	スポーツ推進委員会によるスポーツイベント参加支援	10回/年	10回/年	
	スポーツが輝くまちづくり事業	0回/年	1回/年	
ウ	各行政区におけるまちづくり意見交換会（旧：町政懇談会）の実施	1回/4年	1回/4年	基本目標Ⅲ

５－２の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
	町広報紙発行	1 回/月	1 回/月	
	町ホームページ閲覧件数	200,000件/ 年	280,000件/ 年	
	地域リーダー発掘・育成事業 (情報提供、研修会の実施)	0 回/年	2 回/年	
	婚活イベント事業	2 回/年	4 回/年	
	婚活イベントによるマッチ ング数	0 組/年	7 組/年	
	女性職員における管理職の 割合	5.9%	13.0%	
	犯罪認知件数	86件	60件	
	交通事故（人身事故）の発生 件数 (死亡事故件数)	19(0)件	8(0)件	
エ	農産物の生産面積（水田）	1,045ha	1,045ha	基本目標Ⅳ
	新規就農者数（現状値からの 累計）	3 人	4 人	
	商業販売額	176億円	176億円	
	創業支援計画に基づく実績	1 件/年	1 件/年	
	新規商業施設等立地件数	2 件	1 件	
	農産物 P R 事業実施回数	3 回	4 回	
	交流人口	142,411人	147,000人	
	活動事業費	29,037千円	37,400千円	
	田んぼアート等集客イベン ト開催数	30回	32回	
	町の魅力施設の維持整備	1 施設	1 施設	

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
	魅力UPイベント来場者数	585人	600人	
	シティプロモーション実施数	3回	4回	
	キッチンカー出店回数	10回	12回	
	企業誘致優遇策応募数	46件/年	46件/年	
オ	新規住宅地（鏡石駅東第1土地区画整理事業地区）の整備区画数	150区画	261区画	基本目標V
	空家バンクの登録件数	3件	8件	
	東町団地への入居戸数	15戸	22戸	
	鏡石町定住促進住宅への入居戸数	37戸	46戸	
	公共下水道事業整備率	91.3%	92.6%	
	農業集落排水事業普及率	90.4%	91.6%	
	合併処理浄化槽事業普及率	46.2%	47.6%	
	農業集落排水事業箇所 (成田地区・深内地区)	2箇所	1箇所	
	下水道管路の耐震化率	17.6%	24.0%	
	社会減少解消数	30人 (転入超過数)	30人/年	
	地域おこし協力隊員数	0人	3人	
	関係人口	1,500人	1,900人	
	移住・定住促進施策による移住世帯数 (累計)	41世帯数	120世帯数	
	鉄道利便性向上に係る要請	1回/年	2回/年	
	計画給水人口普及率	98.7%	99.3%	

５－２の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
	第５次拡張事業整備率	52.1%	100.0%	
	石綿セメント管更新率	59.9%	68.0%	
	上水道管路の耐震化率	17.8%	23.0%	
	ごみ処理量（可燃物・不燃物）	3,994 t	3,709 t	
	資源物回収実績	224 t	224 t	
	子ども会育成会資源回収実績	28回	34回	
	町消防団充足率	78.3%	88.0%	
カ	収納率（普通税現年）	99.13%	99.26%	基本目標Ⅵ
	公共施設等総合管理計画の改定	0回	1回	
	行政手続きのオンライン化件数	0件	5件	
	オープンデータの活用	1件	16件	
	ふるさと納税申込み件数	1,429件	2,400件	
	こおりやま広域圏連携事業	1件	6件	

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【Ａ２００７】

① 事業の名称

鏡石町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 全ての町民が健やかに暮らせるまちづくり事業

イ 未来を拓き、次代を担う人づくり事業

ウ 助け合いの心でつなぐ地域づくり事業

エ にぎわいと魅力にあふれるまちづくり事業

オ 安全安心で快適な環境が整うまちづくり事業

カ まちづくりを支える持続可能な行政経営事業

② 事業の内容

ア 全ての町民が健やかに暮らせるまちづくり事業

- ・子どもたちの健やかな成長を促すとともに、子育て世代に対する育児支援等の充実やサポートに努める。
- ・お年寄りや障がいをもった方々を含めて、だれもがいつまでも元気に生きがいをもって暮らしていけるような福祉サービスの提供を図る。
- ・保健・医療体制の充実と住民への情報提供に努めつつ、周辺自治体との連携による広域医療体制の充実に努める。
- ・町民一人ひとりのライフステージに応じた健康づくりと健康寿命の延伸を目指す。

【具体的な事業】

- ・幼児教育・保育無償化事業
- ・のびのび子育て応援券事業
- ・児童公園整備事業
- ・地域包括ケアシステム深化・推進事業
- ・健（検）診事業（総合健診・女性検診） 等

イ 未来を拓き、次代を担う人づくり事業

- ・子どもたちが持っている個性や才能が最大限に発揮されるよう、学校教育・幼児教育の体制やカリキュラムの充実と魅力ある学校環境づくりを進める。
- ・住民の一生涯の「学び」を促すよう、生涯学習が維持できる環境と体制づくりに努める。

- ・鏡石町に係る文化財等の保全、整理とともに適切な活用を図る。
- ・一定の集客力を持つ既存の祭りや行事などのイベントを維持・充実するとともに、新たな資源の発掘やブランド力の向上に努める。
- ・既存スポーツ施設の適切な維持管理とともに、鏡石ならではのスポーツイベントの継続・発展に努める。
- ・スポーツを通じた体力づくりや健康の維持に努める。

【具体的な事業】

- ・幼稚園施設整備事業
- ・学力向上支援事業
- ・元気キッズサポーター派遣事業
- ・スポーツが輝くまちづくり事業 等

ウ 助け合いの心でつなぐ地域づくり事業

- ・行政計画の策定とその実施、運営に係る全般的な町民参加を促すよう、行政との適切な役割分担のもと、段階的に、町民主体によるまちづくり体制を構築する。
- ・身近な地域において、いつまでも安心して暮らし続けられるよう、住民相互の助けあいや支えあいの精神が根付いた人づくり・地域づくりを促す。
- ・あらゆる社会活動において、男女ともに参加できる地域づくりを目指す。
- ・町民による安全・安心な生活環境の確保・維持のため、防災、防犯体制等の充実、消費生活に関わる支援等、多角的に展開する。

【具体的な事業】

- ・町民意見聴取関連事業
- ・防災無線充実事業
- ・地域リーダー発掘・育成事業
- ・婚活支援事業
- ・交通安全施設の整備 等

エ にぎわいと魅力にあふれるまちづくり事業

- ・町の中心的な産業である農業を支援しつつ、引き続き「農商工連携」の推進と「鏡石ブランド」の育成に努める。
- ・農業分野の後継者の育成や農業経営の安定化、町の産業競争力のさらなる向上に努める。
- ・まちなかの活性化や、既存企業への支援、駅東地区の工業団地開発、企業誘致を継続し、町内雇用の拡大に努める。
- ・地域間競争のみならず国際競争力の向上も見据え、地域産業の振興にかかるＩＣＴの活用、導入支援を図る。
- ・「牧場の朝」の町としての対外的なＰＲの充実や「田んぼアート」、「オランダ祭り」など町外からも一定の吸引力を持つイベントの継続、岩瀬牧場等の立地を活かしたイベント等の充実を基軸に、鏡石町の観光力強化を図る。

【具体的な事業】

- ・水田フル活用推進事業
- ・女性農業者活躍応援事業
- ・６次化推進・販路拡大プロジェクト事業
- ・地域連携事業
- ・企業誘致の推進事業
- ・農産物加工所整備事業
- ・田んぼアート事業（見る・食べる・歩く田んぼアート）
- ・魅力ＵＰイベント事業 等

オ 安全安心で快適な環境が整うまちづくり

- ・町の地理特性であるコンパクトさを活かしつつ、住宅地等の開発による生活拠点の形成を進める。
- ・観光振興策と連携も踏まえた、美しい都市景観や公共交通網の充実、歩行者環境等の充実により、歩きたくなる、歩行空間の形成に努める。
- ・住民の生活利便性向上に資する、町内の幹線道路や生活環境を向上させる道路の改良と新設を進める。

- ・公共交通機関の維持や町内の交通体系の確立を目指す。
- ・潤いのある生活環境を維持するため、安全で安心な水の安定供給に努める。
- ・居住環境の整備、向上に努め“住んでみたい”、“住み続けたい”と思えるまちづくりを進める。
- ・鏡石町の豊かな自然環境の保全に努め、地域生活環境の保全・改善とともに、適切な３Ｒ（リサイクル・リユース・リデュース）のまちづくりを進め、地球環境問題への解決にも貢献する。
- ・町民の安全・安心な生活環境を確保・維持していくため、安全性確保と危機管理体制の総合的な構築を図る。

【具体的な事業】

- ・鏡石駅東口整備事業
- ・鏡石駅東第１土地区画整理事業
- ・鏡石スマートインターチェンジ利用促進事業
- ・来て「かがみいし」移住・定住支援事業
- ・地球温暖化防止事業
- ・ふれあいの森公園整備事業
- ・減災対策事業 他

カ まちづくりを支える持続可能な行政経営

- ・行財政にかかる随時の状況把握と透明性の高い行財政運営を進めていくとともに、各種の行政計画の進行管理に努める。
- ・様々な住民生活情報の公開や、住民ニーズの把握に努め、きめ細かな住民サービスの提供を図る。
- ・自主財源の確保や財政の持続性確保に努める。
- ・周辺自治体との広域連携や財政の持続性確保のための収入基盤の強化、デジタル技術の活用等、様々な行財政の改革を継続する。

【具体的な事業】

- ・ふるさと鏡石ありがとう事業
- ・庁舎等改修事業

- ・テレワーク拠点整備事業
- ・電子申請システムの推進
- ・こおりやま広域圏連携事業 他

なお、詳細は鏡石町第6次総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,100,000 千円（2022年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度12月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで